

いつも身近な存在でありたいと思っています

会宝通信 ~KAIHO Communication~

第194号

発行日 2018年1月1日発行

自動車リサイクル研修(マレーシア)

皆さまこんにちは、社長の近藤です。11月6日から1ヶ月間、当社の国際リサイクル教育センター（IREC：International Recycling Education Center）にて、マレーシアから政府高官・大学教授を招聘し、自動車リサイクル研修を行いました。

本研修は、安倍総理とマレーシア政府の間で合意された国家戦略、ルックイースト政策 2.0のプロジェクトの一つとして盛り込まれ、3年間にわたる長期プロジェクトです。第1回目となる今回の研修参加者は、交通省・環境省・能力開発省・マレーシア自動車研究所・現地大学から総計9名となりました。

マレーシア政府は、ルックイースト政策を通じて、政府高官・民間セクターの技術者・学生の人材交流を促進し、日本の成功事例から科学技術に関する知識や専門性を高め、2020年までの高所得国家への目標達成を目指しています。また、日本も技術移転やノウハウの交換を通して、民間企業間の協働を促し、アジアの成長を自国経済開発に取り込むことを目的としています。

マレーシアでは、放置された使用済み自動車が

1,900万台以上にも上り、日本のような自動車リサイクル法・関連税制・ガバナンスシステムの施行が急務な課題となっています。

研修の中で、瀬戸内海に浮かぶ島で、日本の負の遺産である「豊島」にも訪問しました。豊島は豊かな自然に囲まれる島でしたが、1980年代に土地を所有する事業者が、産業廃棄物（自動車のシュレッダーダストを含む）を大量に投棄する事件が起こりました。この事件を契機に日本で自動車リサイクル法が制定されましたが、90万トンもの廃棄物・土壌汚染処理に14年という歳月と総コスト790億円以上がかかりました。

こうした負の経験をマレーシアで繰り返さないためにも、今回の研修のアウトプットとして、マレーシアでの自動車リサイクル行政に関する2020年までのアクションプランを作成しました。今後は、様々な利害関係者を巻き込んで法律制定に向けたフォローアップが必要で、持続可能なビジネスとしての自動車リサイクルを、より多くの海外に広めていけるよう取り組んでいきます。

相場情報 ~生産部より~



2017年12月実績

入庫台数 882台

処理台数 860台

こんにちは。会宝産業の山口です。石川県では久しぶり（5年ぶり）に12月の大雪となり、北陸らしい冬となりましたが、皆様の地域の冬は如何でしょうか。

さて、相場はというと・・・9月上旬にかけて上昇した鉄相場は10月で一度下落し、また12月中旬にかけて回復するという動きとなりました。今後も発生減と輸出値の動きによっては強い基調が続くとの見解も示されています。さて、先日、日本鉄鋼連盟が2018年度の見通しを発表しました。日本経済が緩やかに拡大局面を辿り、非住宅関連の鉄鋼需要が増加傾向になる事で内需拡大との事ですが、自動車関連が微減する事で全体で見ると相場は横ばいになるとの記事が出ておりました。しかし、世界鉄鋼協会によれば、2018年の世界の鉄鋼需要は増加するとの見方が強く、日本のスクラップ市場も来年は輸出値に左右されそうですね。

また、非鉄に関しては中国で2018年中にスクラップ家電関連の規制が入る事が決められています。こうした家電を収集する事業者が自動車からのスクラップも多く扱っているのも現状です。自社から排出されるスクラップの行先を調査して、このようなリスクにも備えておきたいものです。

農業の取り組み ~農業事業部より~ 【 理想の食卓 】



初春のお慶びを申し上げます。お正月の食卓の主演といえば、お節料理ですね。「五穀豊穡」「無病息災」への願いが込められ「子孫繁栄」「学業成就」「金運向上」などにつながる縁起をかつぐ食材も多数つままったまさに夢の重箱です。どんなお節料理が皆様の食卓を飾ったのでしょうか。さて、皆様にとっての理想の食卓とはどういったものでしょうか。家族や友人といった大切な方々とテーブルを囲む、そのテーブルの上には手間暇をかけ愛情のこもった料理がならぶ、その料理に使われているのは体が喜ぶ栄養たっぷりの食材。ということも理想的な食卓ではないかと感じています。

当社が平成30年度から本格参入する羽咋市での農業事業、そのキーワードは「自然栽培」です。昨年平成29年2月25日に「はくい式自然栽培実行委員会」の設立を記念し金沢市文化ホールでシンポジウムを開催しました。このシンポジウムには自然栽培の創始者でいらっしゃいます木村秋則さんにご講演いただきました。そして、今年の2月25日には、当社も企画運営に携わる「食」に関するイベントを行います。その名も「自然栽培 夢のディナーin石川」です。青森県弘前市で産声をあげたこの食のイベントは、東京、大阪、岡山で開催され、いよいよ石川初上陸となります。体が喜ぶ自然栽培の食材をもとに一流のシェフたちが腕を振ります。「人」に「良い」と書いて「食」です。ご興味のある方は下記URLにアクセスして、イベントの情報をご確認ください！

<https://dreamdinner.jimdo.com/>

一緒にできますことを楽しみにしています！（担当：田中）



☆2018年も「リコピン」（美肌効果、老化防止に効く栄養素）たっぷりのしあわせのトマトはいかがですか？【会宝農園インターネットショッピングサイト】 <http://agribalance.jp/>



社員海外レポート



こんにちは。Kaiho Middle Eastの柳澤です。スケールの大きいドバイ！

お金の使い方もスケールが大きいです！

今回は、UAEのナンバープレート事情についてお話したいと思います。ナンバープレート??と思われる方もいるかと思いますが、UAEではナンバープレートはとても重要です！ナンバープレートで所有者の身分やお金持ち度がある程度わかるからです！

UAEのナンバープレートは通常5桁から成りますが、4桁以下のものや規則性のある数字はスペシャルナンバーと呼ばれ、高額で取引されます。過去最高額は「1」のアブダビナンバープレートで2008年に約15億円で落札されたそうです。すごい金額ですね！！

ちなみに携帯電話の番号についても、同じ番号が3桁以上連続するものや、規則性があるものはスペシャルナンバーとして高価格で取引されます。以下は、過去に販売されたものや、取引所で掲示されているドバイのナンバープレートの取引価格です。

1桁	D-5	約9.3億円		
2桁	U-66	約1,1億円	F-82	約4,500万円
3桁	S-440	約1,000万円		
4桁	T-1200	約300万円	H-6438	約18万円
5桁	O-70170	約30万円	E-94545	約15万円

ドバイにお越しの際は是非、ナンバープレートにも注目してみてください。よりUAEの面白さを感じることができます。



今月のパチリ☆



あけましておめでとうございます。皆さま年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか。さて、昨年12月6日に忘年会を行ないました。本社勤務の社員の他、普段はあまり会うことが出来ない千葉営業所の社員やグループ会社の社員も参加しました。毎年様々な企画で盛り上がる忘年会ですが、今年はチーム対抗借り物競争を行ないました。各チームの代表者がカードを引き、そこに書かれているお題に従って物や人を借りて来るというものです。お題には「かたい物」「ブーツ」など比較的簡単なものから、「オタクな人」「会長」といった難易度の高いものまであり、特に「会長」を引いた今年の新入社員は、手に汗をびっしょりかきながら会長を“借りて”来て笑いを誘うなど、とても盛り上がりました。参加者はお互いの近況の報告や1年の苦労を労いながら、笑顔の耐えない賑やかな忘年会となりました。写真は借り物競争の他に行なわれた二人羽織の様子です。それでは、今年も一年どうぞ宜しくお願いします。

(担当：松本)



今月のトピックス

～ 第16回 いいねグランプリ ～

弊社では「いいねグランプリ」という活動を5年前から行っています。これはチーム毎にお客様に喜んでいただく活動をして、その中から最も良いものをグランプリとして表彰するという取り組みです。今回は第16回の「いいねグランプリ」に輝いた活動をご紹介します。

今回の対象となるお客様とのご縁は3年前に遡ります。その時、カンブリア宮殿を見て1通のお手紙をくださいました。亡くなられたご主人の形見である「レガシィB4」をどうするか悩まれていました。亡くなられた後に、ご主人が臓器提供の登録をしていることが分かり、「レガシィB4」が誰かの役に立つことが、ご主人の想いであることも理解していました。しかし、どうしてもどうしてもこの車を手放すことができず、3年の月日が経過しました。

そして結婚40周年記念の日に、ついに「レガシィB4」を手放す決意をされご連絡をいただき、愛知県までお車を取りに行き、買い取らせていただきました。そこで、3年前の背景を知っている弊社メンバーは、何かできないかとチームで考え次のようなことを行いました。

まずこのお車と共にある思い出を何とか残せないかと、実際に付いていた「レガシィB4」のエンブレムを表紙にした、特別なフォトブックをつくりました。またこの車と同じ車種のミニカーを見つけ、ささやかなお手紙と共にプレゼントいたしました。さらにこの車のシートを使って椅子（トレジャーチェアという商品です）を作ってほしいとご注文までくださいました。

その椅子が届いた翌日には「大切にしていたレガシィが、部品としてドバイやロシアの必要とされている方へ行ったんですね。凄く嬉しいです」と涙声でお礼のお電話をくださいました。

仕事を通してお客様に喜んでいただくことが、どれだけ嬉しいことなのか。商売の原点を再確認させていただきました。（担当：佐藤）



会宝産業株式会社 国内業務部 住所が変わりました！

〒920-0209 金沢市東蚊爪町1丁目21-2

車両課（車両引取り・査定）

TEL 076-237-5347

FAX 076-237-1950

Email: sales@kaiho.co.jp

部品課（部品注文/担当:大森・角島）

TEL 076-237-5138

FAX 076-237-6090

Email: kokunai@kaiho.co.jp

ホームページもご覧ください。

<http://kaihosangyo.jp/>

ご意見ご要望はこちらまで

soumu@kaiho.co.jp（担当:宮村）

